

# 令和6年矢巾町議会定例会3月会議

## 代表質問会派・議員と質問事項一覧表

番号	質問会派・議員	質問事項	答弁者
1	町民の会 13番 水本 淳一	1. 施政方針における令和6年度主要事業について	町 長
		2. 教育行政方針の基本方針3「生涯を通して学び郷土の歴史と文化を誇りにし、未来を創造するひとづくり」について	教 育 長
2	新 誠 会 16番 赤丸 秀雄	1. 町長の施政方針演述内容について	町 長
		2. 教育行政方針演述内容について	教 育 長
3	矢巾未来の会 14番 村松 信一	1. 施政方針及び行政運営について	町 長
		2. 教育行政方針について	教 育 長
計	3会派 3名 6件	【代表質問実施日】 令和6年3月5日（火）午前10時	町 長 3件 教 育 長 3件



# 代表質問通告書

矢巾町議会議長 廣田清実 殿

受付 No. 1	令和6年 2月26日	午前 <del>午後</del> 9時00分
議席番号13番	町民の会 水本淳一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 施政方針における令和6年度主要事業について (答弁者) 町長</p> <p>本令和6年矢巾町議会3月会議に提案となっている第8次矢巾町総合計画の施策大綱である4つのまちづくりの方針に沿って以下について伺う。</p> <p>① 第1『元気を発信し活力を呼び込むまちづくり』に関連し、西部地域の観光活性化策に子どもをターゲットにした施策、例えば広大な自然の中に、群馬県にある「ぐんまこどもの国」のような子ども中心のリクリエーションの場、あるいは親子に絞った催しなどの開催があってもいいのではないか。</p> <p>② 第2『誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり』に関連し以下伺う。</p> <p>1. 自治会の手引きを配布し、懇談会やワークショップなどを通じて各地域に応じた支援を行うとあるが、懇談会等の実施時期や開催方法は。また、自治会の手引きはどのような内容で、何を目標にどう活用をしていくのか。</p> <p>2. 国際交流の推進に関し、町内在住外国人との顔の見える関係性づくりを上げているが、本町に在住する外国人の国籍や人数はどのようになっているか。顔の見える関係性づくりとは、何を目標にどのような施策の展開を考えているのか。また、「東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン事業でのオーストラリアとの芸術文化などの交</p>

	<p>流」とあるが具体策は。</p> <p>3. 妊娠・出産・子育てが安心してできる環境づくり及び児童虐待防止体制の充実については「こども家庭課」を設置し、妊娠期から子育て期全般にわたる切れ目のない支援を行うとしている。近年、婚姻数の減少により少子化が深刻化しているが、既婚者の出産数も減少傾向にある。特に女性の場合、出産後辞職もしくは次の出産をあきらめる方も多く見受けられることから、出産をあきらめず、出産後も引き続き仕事が続けられる環境づくりの考えについて伺う。</p> <p>③ 第3『豊かな環境を守り伝えるまちづくり』に関連し以下伺う。</p> <p>1. 「矢巾町地球温暖化対策実行計画区域施策編」が新たに策定されるが、概要と実施期間をどう設定し取り組もうとしているか。</p> <p>2. 持続可能な農業経営を目指す目標地図を含めた地域計画策定を令和7年3月末までに行うため地域主体の意見交換会が行われているが、その実施状況と今後の予定について。またどのような意見が出され、どう対応しようとしているか。</p> <p>3. 岩手県のいきいき農村基盤整備事業を活用し小規模な地区について暗渠排水設備の整備等を進めているが、令和5年度において現地調査の結果、想定より自己負担額がかさむことで申請を断念するなどのケースはどの程度あったか。</p> <p>④ 第4『まちの発展を支える持続可能な行財政運営』に関連し、町民総合ポータルアプリ「やはナビ!」を令和5年12月4日にリリースし、令和6年2月5日にはさらに機能を追加したが、現在までの利用状況と今後の普及に関する目標をどう設定しその達成に向けどう取り組むか。</p>
<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 教育行政方針の基本方針3「生涯を通して学び郷土の歴史と文化を誇りにし、未来を創造するひとづくり」について</p>

(答 弁 者) 教育長

教育委員会は第3期矢巾町教育振興基本計画において、「時代を拓き次代につながるひとづくり」を基本理念・基本目標と定め、「ひとづくり」というキーワードで3つの基本方針を設定しているが、その基本方針の3番目において掲げる4つの重点の内容について以下伺う。

- ① 重点1「多様な学習機会の充実」に関連し以下伺う。
  1. 郷土の歴史と文化に関係する研修会、講座等はどのようなものが実施され継続していくのか、また令和6年度に新たに実施する予定のものはあるか。
  2. 町では、合併70周年を記念し「矢巾町史」を発刊し次世代に本町の歴史と文化を継承していく、とある。そのために明治20年代から現代にいたるまでの懐かしい写真の提供を募っているが、その収集状況は。「写真で見る矢巾史」など写真集を発行しては。新しい発見となるような古文書等の提供はあったか。また、動画等の収集は行っているか。
- ② 重点2「スポーツ・レクリエーション環境の充実」に関連し以下伺う。
  1. 町は「スポーツのまちやはば」宣言並びに矢巾町スポーツ推進計画に基づき、各種スポーツイベント及び各種競技大会などに関わりあえる環境を整備するとある。矢巾町スポーツ推進計画は令和2年11月から令和5年度までを計画期間として策定されているが、今年度までの計画の検証と令和6年度以降の計画策定状況は。
  2. 町は令和5年6月に、岩手医科大学及び同附属病院と連携した「(仮称)多目的屋内練習施設・スポーツ健康科学センター」の本町への整備など3点について県へ要望しているが、その進捗状況と今後の見通しは。
- ③ 重点3「文化・芸術活動の推進」に関連し伺う。平成28年11月6日、「音楽のまちやはば」を宣言して7年になる。令和6年度において取り組む新しい施策はあるか。例えば群馬県高崎市では、「音楽のある街高崎」というテーマで、高崎音楽祭やマーチングフェスティバルのほかに、

市民発信の「音まちプロジェクト」や「高崎どこもかしこも」が実施されている。「まちを歩けばどこからともなく音楽が聞こえてくる」施策を考えては。

- ④ 重点4「文化財保護と活用」に関連し、町郷土芸能大会が1月21日に田園ホールで行われたが、小・中学生の参加が大半を占めており、保存団体の年齢層が気になったことから、郷土芸能を伝承していくための教える側の後継者育成と郷土芸能の記録保存の状況及び町の支援について伺う。

# 代表質問通告書

矢巾町議会議長 廣田清実 殿

受付 No. <u>2</u>	令和6年 2月26日	午前 <del>・</del> 午後 9時00分
議席番号 <u>16番</u>	新誠会 赤丸秀雄	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 町長の施政方針演述内容について (答弁者) 町長</p> <p>町長の施政方針演述を傾聴し、以下の内容について伺う。</p> <p>① 矢巾町農商工共創センターを設置するとあるが、具体的に組織形態はどのようになるのか。 また、その組織運営に町はどのように関わるのか。 そして設置時期の構想はどうか伺う。</p> <p>② 観光まちづくりの推進に関し、これまでの体制を再構築して、観光の強化を図ると述べている。具体的な組織体制と推進のイメージをどう描いているのか。 町がリーダーシップを取るのであれば、1つの提案として、現在町の産業観光課は農業、商業、工業など産業全般を担うほか、観光も担っていることから、観光の強化を図るためには、以前の組織、農林課と観光商工課に区分して事業を強く推し進めるべきと思うが、その考えについて伺う。</p> <p>③ 令和6年度を「地域コミュニティ再構築の年」と位置づけ、町民懇談会の実施など対話を重んじ、双方向のコミュニケーションを展開すると述べている。 以前から私も申し上げているように、地域コミュニティの活性化なくして、町の躍進は語れないと踏まえている。コミュニティ数も45に増え、人口増加も期待できる令和6年度であることから是非、最重要取り組み事項と捉え計画</p>

的、定期的実施を望むものであり、具体的な実施手段についての考えを伺う。

- ④ 健康づくり推進として町民の皆さまとの対話を重視し、協働で健康づくりの取り組みを進める、また、高齢者の社会参加を含めフレイル予防を視野に入れて、保険事業と介護予防の一体的な実施をより一層推し進めると述べているが、具体的な目玉施策として推し進める事業は何か伺う。

また、私は町で推し進めている地域エンジョイ活動が、社会参画やフレイル予防に最適と踏まえ、地域で推奨実施しているが、そのことも踏まえ見解を伺う。

- ⑤ 児童・生徒等歩行者の安全確保に歩道整備を推進すると述べている。地域の多くの方からは歩道整備も重要であるが、経費と時間を要するため、防犯灯や街灯を増やして欲しいと要望が強いことを町はどのように考えているか伺う。

防犯灯設置はいつも自治会の判断であると述べているが、本当にそれで良いのか疑問であり、コミュニティ会長会議等で対応・確認願いたいと思うが町の見解を伺う。

- ⑥ 防災について伺う。これまでの町の災害予防取り組みやハザードマップ作成・説明など、日頃の活動には大変感謝している。

しかしながら1月に発生した能登半島地震が今日も毎日メディア報道されており、自分なりに本町のこれまでの取り組みに自問自答することが多くなったことから何点か確認する。

1. 推奨する個人持出し用品を見直す必要性はないか。
2. 非常時の町の避難所に置ける物資等の必需品の数は、十分足りているか。
3. 非常時対応には日頃の訓練・研修が重要であると再三メディアが報道しているが、町の災害対応に対する備えはこれまで通りで良いと考えるか、変更する点はないか。

質問 2

(質問事項) 教育行政方針演述内容について  
(答 弁 者) 教育長

教育長の教育行政方針演述を傾聴し、以下の内容について伺う。

- ① G I G Aスクールの推進について伺う。I C T教育を導入して3年以上経ち環境も利用方法も改善となっていると想定している。令和6年度は中学校の各教室に大型提示装置を配置するなど、益々I C T活用が促進されるが、現在でも講師間のスキル差、学校間のスキル差がメディアの話題となっていることから、当町の状況はどうであるか。  
また自宅学習時のアクセス環境は、満たされているのか伺う。
- ② 豊かな心を育む教育の推進について伺う。このことは私の育った時代と大いに違うが、教育の最重要と個人的に捉えている。ただ現在の教育(学校主体)は、点数(テスト)に拘るきらいがあると思っており、道徳・人権・尊厳・勤労などを育む機会が少ないと感じている。  
そのことをどう捉え、推し進める考えか伺う。
- ③ 多様な教育ニーズに対応した教育機能の充実について伺う。特別な支援を必要とする児童生徒に対し、適切な支援及び必要な支援を行う特別支援教育支援員、適応支援員等の配置を行うとともに、関係機関と連携した支援体制の充実を図ると言うが、具体的にどのような考えか伺う。
- ④ コミュニティ・スクールと教育振興運動について伺う。コロナ禍にあってこの4年間、殆ど活動が出来ていないと思われるが、学校・地域・教育委員会等の人員も刷新されて、何からどのように取り組み、推し進めようとしているか具体的内容を伺う。
- ⑤ 日本一健康な町 やはば の実現を図るため、町民がスポーツに親しむことができる生涯スポーツを目指すと言うが、具体的にどの様に親しむ環境を整備していくのか伺う。

⑥ 全国的に不登校児童生徒が増える傾向にあり、本町も同様と思われる。対応に妙案はないものかと常々思っているが、不登校から引き籠もりにつながるケースが多いと聞いている。

低年齢の時から対応が重要と思われるが、それに対する町の取り組みの考えを伺う。

# 代表質問通告書

矢巾町議会議長 廣田清実 殿

受付 No. 3	令和6年 2月26日	午前 <del>午後</del> 11時15分
議席番号14番	矢巾未来の会 村松信一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 施政方針及び行政運営について (答弁者) 町長</p> <p>令和6年度の施政方針について、矢巾町の発展に向けた明確なビジョンと、町民と連携して社会課題に取り組む姿勢が明確に示されており評価する。今後の発展に向け、力強い行政運営に取り組んで頂きたい以下伺う。</p> <p>① 農商工共創センターについてであるが、農商工共創センターとは、令和5年度施政方針にある「産業振興センター」のことか。矢巾町中小企業振興基本計画に掲げる「地域産業育成・お役立ちセンター」との関連はあるか。 また、農商工業者が連携して新事業活動を行うことを国が支援する「農商工等連携促進法」に対応する組織か。</p> <p>② 「いわての森林(もり)の感謝祭」についてであるが、この感謝祭は、県民参加による森林づくりを推進するため、岩手県、岩手県緑化推進委員会、開催地の主催で植樹や育樹活動を行い、森林の恵みに感謝する行事として平成19年から開催されているが、令和6年度に本町で開催することとなった経過と感謝祭の概要を伺う。</p> <p>③ 駅西エリアの開発構想についてであるが「矢巾駅西駐車場」「ビッグブルズアリーナ」「旧矢巾中学校敷地」「町民センター」の4つを結ぶ駅西エリアの開発、地域活性化の手法について調査検証を進めるとある。これは何年頃、開発に着手する事を目指し検証を進めるのか。この場合、</p>

町民が積極的に参加し自分たちの意見やアイデアを反映させる手法を取り入れるのか。

- ④ 成果連動型民間委託契約方式PFSについて、内閣府が推奨するこの方式により、2年ほど前から大腸がん検診等の受診率向上に努めているが、その成果とPFSによる契約内容を伺う。
- ⑤ 田んぼダムの取り組みについて伺う。矢巾町が地域の防災・減災を目的に、田んぼダムを活用した流域治水事業に取り組むことを掲げてから数年が経つが、新潟県は平成14年から田んぼダムに取り組み、年々面積が拡大している。本町では思うように進んでいないように思われるが、今後の取り組みについてどのように考えているか。
- ⑥ 環境に配慮した行政の取り組みについてだが、町は環境を守るまちづくりを掲げ、「ゼロカーボンシティ」を実現するために様々な施策に取り組んでいる。EVカー用充電スタンドが役場敷地内に設置されたが、この機会にEVカーに対する補助事業も考えてはどうか。
- ⑦ 令和5年3月「ギャンブル依存症岩手セミナー」が田園ホールで開催されたが、このセミナーによりギャンブル依存症に対する理解と必要な支援について広く周知されたと思う。主催した一般社団法人が運営する山梨県内のギャンブル依存症施設は内閣総理大臣表彰を受賞した優良施設で、4年程前から入所者10名ほどが矢巾町で花植え活動や公園清掃等に参加し地域住民と交流をしている。現在町内に更生施設を開設する準備をしているが、矢巾町独自の支援策を考えてはどうか。
- ⑧ 町内の戦没者慰霊碑について伺う。太平洋戦争などの戦没者を追悼するために、本町遺族会が建立した慰霊碑が、徳田神社脇、本浄寺、実相寺の3か所にあり遺族会が管理している。建立から長い年月が経過し、老朽のため台座のひび割れや亀裂等が見受けられ、修繕や補修が必要な状況となっている。また、遺族の高齢化や、後継者がいない等により今後の維持管理が問題となることが予想される。国の調査によると、遺族会が解散し慰霊碑の維持管理をする人がいないという問題に直面している町もある。町とし

	<p>て、慰霊碑の修繕・維持管理等について国に支援を要請すべきと考えるがどうか。</p>
<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 教育行政方針について (答 弁 者) 教育長</p> <p>地域と連携しながら児童生徒一人ひとりに最適な教育を提供し、子供たちの成長につなげることを目指す令和6年度教育行政方針を評価し、以下のとおり伺う。</p> <p>① G I G Aスクールの実施について伺う。MM総研が2024年1月に実施した「小中学校におけるG I G Aスクール端末の利活用動向調査」によると、端末を毎日利用している自治体が77%、端末の持ち帰りを毎日実施しているのは24%とあるが、本町では週に何回利用や持ち帰りがあるか。</p> <p>また「授業での調べ学習」「学習支援ソフトやアプリの利用」「教員と児童生徒のやりとり」など7つ以上の用途で利用している自治体が44%となっているが、本町はどのような用途で利用しているか。コロナ禍による臨時休校のような時に家庭でオンライン授業ができるような端末を導入したが、実際に行ったか。</p> <p>② 学校運営協議会について伺う。地域でどのような子どもを育てていくかという目標やビジョンを共有し社会総がかりで子育てにかかわるコミュニティスクールに取り組んでいるが、立ち上げ当時の趣旨にかなう運営ができているか。</p> <p>また、令和3年、4年度ともに協議会を部会含め13回開催しているが、開催内容についてホームページへの掲載は延べ3回と少ない。どのような運営がされているか強い関心を持つ町民もおり、保護者や地域との連携のためにも活動内容の開示方法をどう考えているか伺う。</p> <p>多くの町民の意見を取り入れるための方法として、保護者会や地域懇談会でのアンケートや活動内容のホームペ</p>

ージ掲載等を掲げているが、どのように実施したか。

③ 知能検査と合わせて学習指導要領に準拠した標準学力検査を導入し、一人ひとりの児童生徒の知能と学力の相関を可視化して授業や学級経営改善を図ることにより、個別最適な学びの実現を図るとあるが、知能と学力の相関を可視化した結果をどのように個別最適な学びにつなげる考えか。昨年末、すべての子ども・若者が幸せな状態で生活できる「子どもまんなか社会」を目指す「こども大綱」が閣議決定されたが、今後どのように対応するか。

④ 不登校の状況について伺う。令和4年度の文部科学省の調査によると不登校の状態にある小中学生は過去最多となり、10年連続で増加したと公表された。また、いじめ認知件数も小中高校等で過去最多、低年齢化も進んでいるというが、本町の不登校・いじめの状況はどうか。不登校の対応として、学校内外での居場所や人間関係づくり等への支援事例が全国に多々存在するが、本町の対応はどうか。

また、コロナ禍による休校明けに授業のスピードについていけないケースもあると報告されているが、本町の状況はどうか。

⑤ 町の方針として掲げている郷土芸能の伝承と育成について伺う。

先人が積み上げてきた伝統文化は、全国的に後継者不足により存続危機にある所が多く、本町でも由緒ある伝承組織が昨年末に解散した。文化遺産を次世代に引き継ぐために、町民の協力が不可欠であるが、伝承活動の活性化と育成に対しどのように対処する考えか。